

製品名: TCEA1 (16H17) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe18720**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	TCEA1
別名	GTF2S; TCEA; Tcea1; TF2S; TFIS;
遺伝子 ID	6917.0
SwissProt ID	P23193
免疫原	ヒト TCEA1 の合成ペプチド

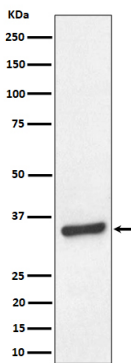
背景

RNA ポリメラーゼ II 転写伸長を鋳型にコードされた停止部位を越えて効率的に進めるために必要である。DNA の停止部位は、通過する伸長中の RNA ポリメラーゼの一定部分を捕捉する性質を持ち、その結果、三元複合体がロックされる。RNA ポリメラーゼ II 転写伸長を鋳型にコードされた停止部位を越えて効率的に進めるために必要である。DNA の停止部位は、通過する伸長中の RNA ポリメラーゼの一定部分を捕捉する性質を持ち、その結果、三元複合体がロックされる。新生転写産物が S-II によって切断されると、新しい 3' 末端からの伸長が再開される。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の TCEA1 発現のウェスタン プロット分析。